

自分を救える人が 他人も救える人

11月30日（火）に秋の避難訓練を行いました。今回の想定は、緊急地震速報発令による訓練でした。非常階段を利用し、各学年とも迅速に避難することができました。「災害は忘れたころにやってくる」ともいわれます。日頃から災害に対する備えをしておきたいものです。また避難終了後、防災教室も併せて行われました。県立博物館の筑波匡介様を講師としてお迎えし、会津柳津学園中学校が災害等で避難所になった場合を想定した講義でした。ワークショップも行われ、中学生が避難所で何ができるか等について考える時間もあり、創意工夫ある意見も出され講師の先生も感心していました。それぞれのご家庭でも、災害時の集合場所や連絡の方法等この機会に是非話し合っていただければと思います。



小学生へのボランティア

例年本校では、柳津小学校に出向いて、12年生には絵本の読み聞かせを、3年生から6年生には学習ボランティアを行っています。今年度も12月16日（木）に行う予定です。小学生に教える算数の問題の予習や、読み聞かせをする絵本を読んでおくなど、事前準備する時間を12月9日（木）に設けます。小学生に教える事や読み聞かせを通してコミュニケーションの能力の向上や、表現力の向上、学習に対する楽しさ難しさを感じ、今後の自分の学習に行かす等々の目的があります。



お願い

2月1日（水）に学校から渡された2種類の文書（タブレット貸出について、学校教育に関するアンケート）をよろしくお願いします。また 小池菓子舗建設工事に伴う通行止めについて、関係生徒する生徒にはお話をしました。ご理解、ご協力をお願いいたします。



柳津町で予想される災害はどのような災害でしょうか

「津波でんでんこ」の教えに従い、小学生を誘導しながら避難する中学生（岩手県釜石市）「住民提供」「高台へ走れ」。東日本大震災の津波で1300人以上の死者と行方不明者が出た岩手県釜石市では、小中学生が率先して高台へ避難した。市内約2900人の児童生徒のうち死者・行方不明は5人にとどまり、子どもに促されて避難して助かった住民も多いという。釜石市には「津波でんでんこ」という言葉が昔からある。同市の全小中学校では、その意味について授業で「家族のことは気にせず、でんでんバラバラになって逃げて、自分の命を守りなさい。高台で待てば、いつか必ず迎えが来る」と教えている。

		今週の目標						下校
		2学期の反省をしっかりとしよう						
6	月	学	社	理	英	国	家	15:30
7	火	数	英	国	体	理	社	17:30
8	水	道	数	体	理	国	社	17:30
9	木	社	英	体	技	総	総	17:30
		○読み聞かせ、学習ボランティア準備						
10	金	数	美	理	国	音	英	17:30